

授乳室に関する案内用図記号
- 進捗状況及び今後の方針(案)について -

1. これまでの経緯

2017 年 7 月 20 日、JIS Z8210（案内用図記号）の改正において、ISO の図記号①をベビーケアルームとして追加し、従来の JIS 図記号②は 2019 年 7 月 20 日をもって削除とする等の改正を行った。

図記号①の中に哺乳瓶が入っているため、パブリックコメントにおいて母乳推進を阻害とするとの意見や「安心して授乳できる場所（プライバシーが確保された場所）があるかどうかがわからない」との意見が多数寄せられた。このため、授乳室の図記号に関する分科会を設置し検討することとした。



図記号① ベビーケアルーム



図記号② 乳幼児用設備

2. 授乳室図記号に関する分科会名簿及び開催状況

別紙 1 のとおり。

3. これまでの検討内容のまとめ及び今後の方針(案)

別紙 2 のとおり。

4. 今後の予定

資料 8 のとおり。

授乳室図記号に関する分科会名簿及び開催状況

① 授乳室図記号に関する分科会名簿(敬称省略、順不同)

	氏名	所属
委員長	布田 健	国土交通省 国土技術政策総合研究所 住宅研究部 住宅生産研究室長
委員	中村 祐二	学校法人自由学園 (ISO/TC145 国内対策委員会委員長、同 SC3 主査)
〃	児山 啓一	株式会社アイ・デザイン 代表取締役 (ISO/TC145/SC1 国内対策委員会主査)
〃	定村 俊満	公益社団法人日本サインデザイン協会常任理事・調査研究委員会委員長 (株式会社ソーシャルデザインネットワークス 代表取締役社長)
〃	高橋 紀夫	国土交通省 総合政策局安心生活政策課 交通バリアフリー政策室長
〃	辻村 由佳	一般財団法人国際観光サービスセンター 成田国際空港ツーリストインフォメーションセンター所長
〃	平野 祐子	主婦連合会 副会長 社会部部長
〃	竹島 恵子	公益財団法人 交通エコロジー・モビリティ財団 バリアフリー推進部 企画調査課 担当課長
〃	村上 哲也	一般社団法人日本ショッピングセンター協会 常任参与
〃	松田 妙子	特定非営利活動法人 子育てひろば全国連絡協議会
〃	村上 誠	特定非営利活動法人 ファザーリング・ジャパン 理事
〃	岡崎 租乃子	イオンリテール株式会社 ディベロッパー本部 建設部 リーダー
〃	内田 将夫	コンビウィズ株式会社 BCS事業本部 BCS営業部 マーケティンググループマネジャー
〃	老田 智美	NATS環境デザインネットワーク 代表取締役
〃	長谷川 万由美	母と子の育児支援ネットワーク理事 (宇都宮大学教育学部教授)
オブザーバ	奥 起久子	NPO 法人日本ラクテーション・コンサルタント協会
〃	稲葉 信子	ラ・レーチェ・リーグ日本
〃	久田 邦夫	株式会社 GK グラフィックス (本プロジェクト SDA 検討委員会委員)
関係者		経済産業省 産業技術環境局 国際標準課
事務局		一般財団法人日本規格協会

② 開催状況

- ・第1回目 平成29年10月 4日 13:00～15:00
- ・第2回目 平成29年12月13日 14:00～16:00
- ・第3回目 平成30年 2月 7日 14:00～16:00
- ・第4回目 平成30年 9月28日 14:00～16:00

これまでの検討内容のまとめ及び今後の方針(案)

「授乳室図記号に関する分科会」において、下記(1)～(5)の論点について矢印（⇒）の通り方針をとりまとめた。

(1) 授乳室図記号の検討目的

⇒ JIS 図記号の定義には、女性用の授乳室（個室/共用スペース）の有無、男性も入れる授乳室（個室/共用スペース）の有無を明確に示すことが重要。

（注）プライバシーが確保されたスペースを「個室」、複数人で使用されるスペースを「共用スペース」と定義する。

(2) 鍵について

⇒ 鍵の有無については、JIS 図記号の定義に含めないこととする。

(3) 個室か、共用スペースか

⇒ 個室、共用スペースを問わない JIS 図記号を検討する。

(4) 表示場所について

⇒ 図記号の表示場所を含めて、授乳室に必要な設備、授乳室の具体的な仕様などについては、「国交省ガイドライン」※に記載されており、JIS 図記号の定義には含めないこととする。

施設管理者が「国交省ガイドライン」と整合性を取りながら定めるものとする。

※ 高齢者、障害者等の円滑な移動等配慮した建築設計標準

(5) 表示事項・定義について

⇒ 以下の①及び②を新たな図記号、表示事項/機能として、JIS Z8210 の中に追加することを検討する。

5.1.32-1	ベビーケアルーム Baby care room		図材： 乳幼児の上にかがみこむ人間を横から見た図。哺乳瓶の外形図を配置。 機能： ベビーケア設備の場所を表示。この図記号を使用する場合には、少なくとも授乳及びおむつ交換ができる設備が備わっているものとする。
①	5.1.32-2 授乳室（女性用） Baby feeding room (for women)	(検討中)	図材： （未定） 機能： 女性用の授乳室を表示。
②	5.1.32-3 授乳室（男女共用） (案1) Baby feeding room (for men and women) (案2) Baby feeding room (for family)	(検討中)	図材： （未定） 機能： 男女共用の授乳室を表示。
5.1.32 A	乳幼児用設備 Nursery		図材： おむつをした乳児の正面図。 機能： 授乳，おむつ交換など，乳幼児のために使用する施設を表示。 注記1：施設の内容を補助表示で示すことが望ましい。 注記2：2019年7月20日をもって削除する。

(注)

- ・授乳室は個室、共用スペースなどを含んだ広い概念。
- ・現行の「ベビーケアルーム」と②「授乳室（男女共用）」の違いは、男性が入室可能であることを明確化するもの。

授乳室図記号に関する分科会における主な意見

(1)【授乳室図記号の検討目的、現状の課題】

- ・ 女性が安心して母乳による授乳ができるためにはどうしたらよいのかを、検討していただきたい。
- ・ 国交省の「女性が輝く社会づくりにつながるトイレ等の環境整備・利用のあり方に関する協議会」の中の調査で、母乳で育てている人は、母乳で授乳する場所がないから外出したくない、と言う人がかなり多い結果が出ている。
- ・ 母乳で授乳できる場所が明確になれば、母乳育児をする女性や、イクメンの外出機会も増やせるのではないか。
- ・ 図記号の目的は「安心して授乳ができる」というのが最大公約数の目標なので、それを目指して議論すべき。
- ・ 授乳室は女性しか入れないものだと思っている方がおり、男性が入ると白い目で見られる。
- ・ 男性も入れますと書いてあれば堂々と入るが、入れるかどうか分からないのが困る。

(2)【鍵について】

- ・ 個室を鍵付にするかどうかは、施設側の問題。
- ・ 個室自体・共用スペース自体に、施錠できるかどうかという意味をもたせるのは適切ではない。
- ・ 鍵付だと上の子供を閉めだしになってしまう可能性がある。
- ・ 男女が入れるところであれば、鍵がないと不安になるので、鍵があるべき。
- ・ 鍵がある方がよいかどうかは、場所によりけり。
- ・ ピクト自体に鍵をつけてしまうと、定義自体に鍵という条件が入ってしまい、鍵付でないアコーディオンの場合に使えなくなってしまう。鍵はピクトでなく、補助表示（文字など）の方がよいのでは。

(3)【個室か、共用スペースか】

- ・ 一番重要なのは、母乳で授乳しているときに男性が入ってこないこと。個室にこだわる必要はない。
- ・ 母乳の女性への配慮は必要だが、人工乳の女性や男性で授乳しなければならない人のことも考え、個室を表す方がよい。
- ・ ミニマムな授乳室は男性が入れないと困るという現状はあるが、それ以外の個室／共用スペースは「女性」を定義に入れた方が分かりやすい。

(4)【表示場所】

- 館内や駅の誘導サインで載せるべきか。
- 遠くから見る前提で考える必要がある。
- 現在施設では、サインの数を減らす方向。
- トイレの表示の場合は、建物入口等ではトイレがあることしか分からず、その前まで行って初めて分散の機能（車椅子、おむつ交換台等）があることが分かるようになっている。

(5)【表示事項・定義】

- 第3回勉強会で提示した表示事項及び定義案は次の通り。
表示事項： 授乳用個室 （代案：授乳ブースなど）
機能： 安心して授乳できる設備を表示
- これに対し、「個室に限定する必要はないのではないか」「女性が安心できることが大切なので、『女性』を定義に入れた方がよいのではないか」という意見が出て、事務局で再度検討することとなった。